

法学部専任教員2004年度研究業績

雑誌名	駿河台法学
巻	19
号	1
ページ	200-186
発行年	2005-09-30
URL	http://doi.org/10.15004/00000094



法学部専任教員

2004年 度研究業績

秋池 宏美 教授

【現在の研究テーマ】

- ① 男女共同参画の法制度と行政に関する研究
- ② ジェンダーと教育の研究

芦野 訓和 助教授

【著書】

『解説 条文にない民法 新版』（共著，日本評論社，2004.9）

【論文】

「コンピュータプログラム製作における仕事の完成と瑕疵」（『私法判例リマックス』第29号，2004.7）

「売買法と請負法の交錯領域としての製作物供給契約（1）——我が国の判例分析と問題解決の指針——」（『駿河台法学』第18巻第1号，2004.9）

【学会報告その他】

「売買契約における買主の瑕疵修補請求権と634条1項」（『法学セミナー』第600号，2004.11）

【現在の研究テーマ】

請負契約の研究，多数当事者間の法律関係の研究，私法における利他主義について，現代社会における民法の役割について

天野 武男 教授

【学会報告その他】

- ① 研究ノート

1) “Evaluation on 40 Days of Community at Southcliff Baptist

Church”Southcliff Baptist Church, November 22, 2004.

- 2) “The Comparison Between Death of the Japanese Buddhism and That of the Pauline Epistle in the New Testament”Southwestern Baptist Theological Seminary, July 30, 2004.

② 書評

- 1) Pauline Theology: Ministry and Society by E. E. Ellis, University Press of America, 1997. (Southwestern Baptist Theological Seminary, October 5, 2004).
- 2) Paul: His Life and Teaching by John McRay, Baker Academic Press, 2003. (Southwestern Baptist Theological Seminary, July 15, 2004).

③ 社会活動

聖日説教「救いとヨハネ 3 : 16」 Lone Star Baptist Church, Frisco, Texas, 2004. 12. 5.

④ その他

- 1) アメリカ便り : その1 東京バプテスト神学校ニューズレター 2004 年4月号
- 2) アメリカ便り : その2 東京バプテスト神学校ニューズレター 2004 年6月号

【現在の研究テーマ】

新約聖書のパウロ書簡

天野 佳洋 教授

【論文】

「株券不発行制度と金融実務 —— 株式担保を中心に —— 」(『銀行法務21』第634号, 2004.7)

「株券不発行制度下の株式担保」(『金融法務事情』第1715号, 2004.8)

「その他 概観」(『金融判例研究(金融法学会編)』第14号, 2004.9)

「会社法制現代化と金融取引」(『銀行法務21』第643号, 2005.3)

【学会報告その他】

「座談会・株券不発行制度と金融実務（天野佳洋 = 大野正文 = 神田秀樹 = 始関正光 = 村井博美 = 吉田聡）」（『金融法務事情』第1724号～第1726号, 2004.12）

【現在の研究テーマ】

会社法制現代化について
セキュリティゼーションについて

伊藤 行紀 教授

【論文】

「英国行政法における正当な期待の保護」（『駿河台法学』第18巻第2号, 2005.2）

【現在の研究テーマ】

外国人家族と出入国管理
英国移民法と司法審査

井上 久士 教授

【著書】

『歴史をよむ』（共著, 東京大学出版会, 2004.11）

『重慶国民政府史の研究』（共著, 東京大学出版会, 2004.12）

【論文】

「平頂山事件再考」（『季刊中帰連』第30号, 2004.9）

【現在の研究テーマ】

1930-40年代の中国政治と日中関係

大録 英一 教授

【現在の研究テーマ】

独禁法の研究

岡本 昌子 講師

【著書】

『はじめての刑法』(共著, 成文堂, 2004.4)

【論文】

「カナダ刑法改正議論と自招侵害」(『同志社法学』第56巻第6号, 2005.2)

【現在の研究テーマ】

違法性論

加藤 紘捷 教授

【論文】

「イギリス憲法とヨーロッパ——L.スカーマン卿『イギリス法——新局面』発刊30周年に際して——」(『比較法文化』第13号, 2005.3)

【学会報告その他】

「イギリスとヨーロッパ——議会主権を巡って」(駿河台大学比較法研究所主催公開講座, 於私学会館, 2004.11.26)

「日本的国民司法参加与裁判員制度——從1923年陪審法至2004年裁判員法」(蘇州大学法学院特別講演, 於中国蘇州大学法学院, 2005.2.28)

【現在の研究テーマ】

英米の情報自由法と日本の情報公開法の比較研究

河崎 祐子 助教授

【現在の研究テーマ】

企業再建手続の研究, 倒産処理政策の研究

北原 仁 教授

【論文】

「イタリアにおける消費者信用の進展と個人情報保護」(『個人情報情報専門誌・アイ』第55号, 2004.4)

【学会報告その他】

① 翻訳

トマス・ジェファソン／共訳「合衆国上院の利用に供するための議会慣行手引(3)」(『比較法学』第38巻第1号, 2004.7)

② 学会報告その他

「判例時報1860号49頁 難民認定申請期間の徒過とやむを得ない事情 東京高判平成16年1月28日」行政判例研究会・判例報告(2005.1.22)

「中南米の違憲審査制について」コスタリカ平和の会・報告(2005.2.26)

【現在の研究テーマ】

身分制議会と立憲主義の起源

ラテンアメリカの違憲審査制

熊田 俊郎 教授

【学会報告その他】

「《皆で考える地域の未来——あなたも議員体験をしてみませんか?》に参加して」(『平成16年第4回 皆で考える地域の未来《あなたも議員体験をしてみませんか?》模擬市議会会議録』社団法人青梅青年会議所, 2004.10)

【現在の研究テーマ】

大都市郊外社会の成立, 中国都市の空間構造, 公共性の国際比較, 古書市場の国際比較

倉島 安司 助教授

【学会報告その他】

「地上波デジタル放送電波障害に関する調査研究報告書」(委員として参加, 財団法人公共用地補償機構, 2005.3)

【現在の研究テーマ】

公法上の損失補償の研究

栗山 徳子 教授

【著書】

『会社法重要判例解説〔新版〕』（共著, 成文堂, 2004.9）

【論文】

「株式の払込の仮装(1)」(『商法研究』第13号, 2004.8)

「株式の払込の仮装(2)」(『商法研究』第14号, 2004.9)

「取締役・執行役の会社に対する責任(1)」(『商法研究』第17号, 2004.12)

「取締役・執行役の会社に対する責任(2)」(『商法研究』第19号, 2005.2)

狐塚 賢一郎 助教授

【現在の研究テーマ】

Tグループワークを用いての運動部集団の凝集性の向上
高齢者の介護予防運動プログラムの開発

佐野 富士子 教授

【論文】

‘Japanese university students’ receptive pragmatic competence’ (『大学英語教育学会 紀要』第40号, 2005.3)

「ライティングの指導と評価」(『第53回大会紀要』全国英語教育研究団体連合会, 2004.4)

【学会報告その他】

① 学会報告

‘Japanese students’ understanding of speech acts and consciousness-raising task effects’

American Association for Applied Linguists 2004 Conference at
Portland, Oregon, 2004. 5

② 科学研究費研究

平成16年度基盤研究(A)「第二言語習得研究を基盤とする小, 中, 高,
大の連携をはかる英語教育の先導的基礎研究」

平成15年度基盤研究(B)「グローバル化社会における発信型英語教育
に対応する大学英語能力テストの開発」

【現在のテーマ】

第二言語習得論, 英語教育学

島 伸一 教授

【学会報告その他】

「軍法会議解説・最高司令官に強い権限」(『朝日新聞』2004.10.24 朝刊)

「〔判例解説〕勾留の場所」(『別冊ジュリスト(刑事訴訟法判例百選[第8
版])』第174号, 2005.3)

【現在の研究テーマ】

日本およびアメリカの刑事法の理論と実務

竹内 俊雄 教授

【論文】

「不動産売買における所有権移転時期と会計法29条の8第2項について」
(『用地ジャーナル』2004年7月号)

「譲渡担保に関する近時の重要判例をめぐって」(『内山尚三先生追悼論文
集・現代民事法学の構想』, 信山社, 2004.11)

【学会報告その他】

① 判例研究

「最高裁平成13年11月22日判決について」(『法律のひろば』2004年
4月号)

「最高裁平成15年12月19日判決について」(『法律のひろば』2004年

8月号)

② 解説

「平成15年5月福岡地方裁判所判決について」(『用地ジャーナル』2004年5月号)

③ 重要判例解説(連載)

「権利の濫用」(『用地ジャーナル』2004年6月号)

「胎児の権利能力」(『用地ジャーナル』2004年7月号)

「意思無能力者の法律行為」(『用地ジャーナル』2004年8月号)

「制限能力者の詐術」(『用地ジャーナル』2004年9月号)

「失踪宣告の取り消しと第三取得者」(『用地ジャーナル』2004年10月号)

「理事の権限濫用行為」(『用地ジャーナル』2004年11月号)

「法人の目的の範囲」(『用地ジャーナル』2004年12月号)

「法人の不法行為能力」(『用地ジャーナル』2005年1月号)

「法人格否認の法理」(『用地ジャーナル』2005年2月号)

「土地の一部の取引」(『用地ジャーナル』2005年3月号)

④ 講演

「研究における倫理と法」(於青森県立保健大学, 2004.6.18)

【現在の研究テーマ】

金融法・担保法(特に非典型担保を中心として)

竹下 守夫 教授

【論文】

「法整備支援の現状と課題」(『比較法文化』第12号, 2004.3, 昨年度の追完)

「家庭裁判所と参与員」(『家庭裁判所月報』第56巻第4号, 2004.4)

【学会報告その他】

① 注釈書分担執筆

『基本法コンメンタール・民事執行法 [第五版]』第180条～第182条

(浦野雄幸編, 日本評論社, 2005.3)

② 座談会

「新破産法の基本構造と実務・第1回」(伊藤真ほか, 『ジュリスト』第1284号, 2005.1)

「新破産法の基本構造と実務・第2回」(伊藤真ほか, 『ジュリスト』第1286号, 2005.3)

③ インタビュー

「『人格教育』を通して奥の深い知性を養い高度な法曹を養成する大学院教育を展開する」(『文部科学教育通信』第104号, 2004.7)

④ 巻頭言

「破産法成立後の倒産法制に望む」(『事業再生と債権管理』第105号, 2004.7)

【現在の研究テーマ】

① 民事訴訟の計量分析

② 司法制度改革後の日本の司法

千草 孝雄 教授

【論文】

「地方自治における民意」(『駿河台法学』第18巻第1号, 2004.9)

【現在の研究テーマ】

比較地方自治の研究

成田 憲彦 教授

【著書】

『現代日本政党史録・第5巻』(第7章「政党と官邸——細川政権を中心に——」を担当, 第一法規出版, 2004.4)

【論文】

「『反省の院』と『国民代表機関』は両立しない(検証 参議院は必要か)」(『中央公論』2004年5月号)

「マニフェスト選挙を推進する公職選挙法（ローカルマニフェストの展望）」
（『ガバナンス』2004年8月号）

【学会報告その他】

「政権は参議院の『独自性』を恐れてきた（学者が斬る）」（『週刊エコノミスト』2004年7月13日号）

「アメリカの政治（今月の集中講義）」（『中央公論』2004年9月号）

「国会」（『イミダス』2005年版, 2004.11）

「参院選 現れた『構造変化』の兆し」（『読売新聞』2004年7月14日夕刊）

「自民党結党50年 成熟社会にどう対応」（『東京新聞』2005年1月1日）

【現在の研究テーマ】

政治制度の研究, 現代日本政治の動向分析

西川 敏之 教授

【著書】

『現代イギリスの選挙政治』（単著, 敬文堂, 2005.1）

朴 昌明 講師

【著書】

『韓国の企業社会と労使関係』（単著, ミネルヴァ書房, 2004.4）

『変貌する韓国経済』（共著, 朴一編, 世界思想社, 第2章「労働組合と労働者」を担当, 2004.10）

【論文】

「経済危機以降の韓国における銀行労働——銀行のM & Aに伴う労働問題を中心に」（『労務理論学会誌』第14号, 2005.3）

【学会報告その他】

「経済危機以降の韓国における銀行労働」（労務理論学会第14回全国大会報告, 2004.7.17）

「書評・ハーゲン・クー著『韓国の労働者——階級形成における文化と政治』（滝沢秀樹・高龍秀訳, 御茶の水書房, 2004年）」（『甲南経済学論集』

第45巻第3号, 2004.12)

【現在の研究テーマ】

韓国の企業社会・労働問題の研究

橋本 義一 教授

【著書】

『現代会計学概論 —— 商法施行規則をもふまえて ——』(編著, 三恵社, 2004.11)

【学会報告その他】

加藤武信「モデリングツールを活用した会計情報システムの構築」研究報告のコメンテータ(第48回オフィスオートメーション学会全国大会, 於駿河台大学, 2004.5)

【現在の研究テーマ】

中小企業の会計基準

萬歳 寛之 講師

【論文】

「国際法における法典化概念の特質 —— 国連国際法委員会を中心として ——」(『駿河台法学』第18巻第1号, 2004.9)

「国家責任法における個人損害」(石川明編『国際経済法と地域協力(櫻井雅夫先生古稀記念論集)』, 信山社, 2004.12)

【現在の研究テーマ】

国際法における違法行為責任の追及制度の研究

阪埜 光男 教授

M. A. Foulds 助教授

【現在の研究テーマ】

日本絵画史の発展に寄与した18世紀後半の絵師の研究

福田 二郎 教授

【著書】

『英米文学に見る男女の出会い』（共著，北星堂書店，2004.9）

【現在の研究テーマ】

20世紀英国小説の研究

ヒューマニズムについて

星川 熙 教授

【論文】

「太陽光発電衛星はエネルギー危機を救えるか」（『駿河台大学論叢』第29号，2004.）

松田 浩 講師

【著書】

『新現代憲法入門』（共著，山内敏弘編，法律文化社，2004.4）（Ⅱ第10章「学問の自由と教育を受ける権利」，Ⅲ第14章「憲法改正権と改憲論議」担当）

【学会報告その他】

「内閣総理大臣による靖國神社参拝の公的性格」（『法学セミナー』第594号，2004.6）

「改正駐留軍用地特措法と適正手続」（『法学セミナー』第596号，2004.8）

「大学教員任期制と憲法23条——京大井上事件——」（『法学セミナー』第598号，2004.10）

「住民基本台帳ネットワークとプライバシーの権利」（『法学セミナー』第600号，2004.12）

「県立高校校長による生徒会誌掲載拒否事件」（『法学セミナー』第602号，2005.2）

【現在の研究テーマ】

学問の自由, 日本憲法学史

松平 光徳 助教授

【現在の研究テーマ】

WTOと知的財産権(比較法研究所共同研究課題), 著作権制限規定の見直し: 我が国における一般制限規定の導入, 知的財産権の基礎: 素材提供者への配慮——フォークロアの保護について

山本 耕一 教授

【論文】

「二つの《近代の超克》論——廣松渉と京都学派——」(『情況』第3期第5巻第8号, 2004.8)

【現在の研究テーマ】

環境倫理学

吉田 恒雄 教授

【論文】

「児童虐待ケースにおける司法関与制度試案」(『子どもの虐待とネグレクト』第6巻第1号, 2004.5)

「児童虐待をめぐる新たな状況と児童虐待防止法の改正」(『月報司法書士』第390号, 2004.8)

【学会報告その他】

『児童虐待に対する学校の対応についての調査研究』(平成14年度～15年度 文部科学省科学研究費補助(特別研究促進費(1)研究成果報告書(課題番号14800005) 研究代表者 玉井邦夫(山梨大学教育人間科学部), 2004.3)

「学校における児童虐待への対応～最前線の先生方へ～」(玉井邦夫編, 教員用研修資料(CD-ROM版), 2004.3)

「児童虐待をめぐる状況の変化と法改正」(日本子どもを守る会編『子ども白書2004』, 草土文化, 2004.7)

「座談会 児童虐待の現状と法整備」(『現代刑事法』第65号, 他に岩井宜子・平湯真人・田中島晃子・奥山真紀子, 2004.9)

「子どもの虐待に関する法制度を考える1 児童虐待防止法の改正を考える報告および意見の概要」(『日本子どもの虐待防止研究会第9回学術集会京都大会 シンポジウム・分科会記録(CD-ROM版) 子どもの虐待とネグレクト 付録』第6巻第2号, 日本子どもの虐待防止研究会, 2004.8)

「改正児童福祉法 市町村の対応力向上を」(『週間福祉新聞』2005.1.24)

「子どもの救済と安心のまちづくり」(『子どもの権利研究』第6号, 2005.2)

「座談会 改正児童虐待防止法・改正児童福祉法と今後の課題」(『厚生労働』2005年2月号, 他に津崎哲郎・花園大学教授・前大阪市児童相談所長, 山本麻里・厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室長)

【現在の研究テーマ】

児童虐待の法学的研究

子どもの権利擁護制度の研究

社会福祉における情報保護と情報公開

吉野 貴順 教授

【学会報告その他】

① 社会活動・フィールドワーク

日本オリンピック委員会指定強化スタッフ

日本スケート連盟ショートトラック運営委員・ショートトラック強化部員

日本スケート連盟トレーニング・ドクター

日本フロアボール協会事務局長・選手強化委員長

「2004男子世界フロアボール選手権大会」日本代表チーム監督 Cディビジョン優勝(Bディビジョン昇格), 2004.4

「第1回アジア・太平洋フロアボール選手権大会」日本代表チーム監督, 男子優勝および女子優勝, 2004.12

「2005世界ジュニア・ショートトラック・スピードスケート選手権大会」日本選手団チームリーダー, 2005.1 (『日本スケート連盟会報 Skating』第107号, 2005.4)

② 講演

「運動とからだ——運動不足の害——」(2004年度駿河台大学公開講座「飯能学」: 後期Ⅱ市民生活と生きがい論Ⅱ, 於駿河台大学, 2004.12)

【現在の研究テーマ】

ショートトラック・スピードスケート競技選手の国際的競技力向上に関する実践的研究 (特にジュニア期に必要な教育・指導プログラムについて)
ショートトラック・スピードスケート競技選手の体力と競技力との関係
フロアボール競技選手の国際的競技力向上に関する実践的研究

米山 哲夫 教授

【現在の研究テーマ】

刑事政策論の体系の構築